

成果報告書

地域文化倶楽部(仮称)創設支援事業

団体名	一般財団法人 民族衣裳文化普及協会								
所在地	東京都中央区日本橋	設立年	昭和52年9月20日						
運営主体	一般財団法人 民族衣裳文化普及協会 文京区・名古屋市								
事業目標	<ul style="list-style-type: none"> ・目標人数である親子10組20名×2箇所の集客 ・着付け技術の向上(きものが着られる、歴史等の理解度がある) ・発表会(地域との交流会)の開催 ・神社との連携で神社の存在や役割が理解される(名古屋市) ・地域が好きになる 								
きっかけ	昭和52年(1977年)現文部科学大臣の認可をいただき、財団法人として設立。平成26年長年に渡るきもの文化活動が認められ一般財団法人として内閣府に移行し、引き続ききもの文化の普及、啓蒙を主目的に設立された公益法人								
団体・組織等の連携	<p>【イメージ図】</p> <p>【関係団体一覧】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>団体名</th> <th>本事業における関わり方</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>文京区</td> <td>ホテル椿山荘東京 文京区教育委員会</td> </tr> <tr> <td>名古屋市</td> <td>熱田神宮・熱田神宮会館 名古屋市教育委員会</td> </tr> </tbody> </table>			団体名	本事業における関わり方	文京区	ホテル椿山荘東京 文京区教育委員会	名古屋市	熱田神宮・熱田神宮会館 名古屋市教育委員会
団体名	本事業における関わり方								
文京区	ホテル椿山荘東京 文京区教育委員会								
名古屋市	熱田神宮・熱田神宮会館 名古屋市教育委員会								
活動場所	文京区／ホテル椿山荘東京 名古屋市／熱田神宮・熱田神宮会館								
活動概要	<p>当協会は、昭和52年に文部大臣の認可をいただき財団法人として設立。平成26年には、長年に渡るきもの文化活動が認められ一般財団法人として内閣府より認可をいただきました。以来、公益法人としての責任のもと日本の民族衣裳であります「きもの」を一人でも多くの方に親しんでいただく活動を行っております。活動の一部を紹介しますと、ニューヨーク・パリユネスコ・ロシア・ラトビア・上海万博での国際文化交流、「文化功労者」への表彰式の開催、NHK教育放送「趣味悠々」への協力、4球団実施のゆかたで野球観戦、きもので芸術鑑賞など活動は国内外問わず多岐に渡っています。</p> <p>当協会は公益法人として運営している安心の団体としてきもの等の販売はなく、きもの文化を後世に正しく伝え広める事が目的の法人です。</p> <p>令和4年度地域文化倶楽部創設支援事業を通じて地域における文化系活動の拠点を作り日本の将来を担う未来ある若者を育成する取り組みをスタートさせた。</p>								

○本事業による成果

- ・学習指導要領の改訂により和服に関する内容がより充実する一方、指導する学校の教員が不足で十分指導することができない現状のなか本講座を開講しリアル感の創出により、和服とりわけ和文文化への造詣が深いことが分かった。
- ・学校側にとって運動系だけでなく文化系の多様な学びの創出として見直す契機となったように考える。「着付け」というジャンルがあれば、和文文化を学ぶ機会作りにも繋がるものと考え。
- ・また教員の働き方改革から言えば、教員の負担軽減となったことは周知のとおりである。

【文京区】

- ・40名(小14名、中6名、保護者20名)の親子の参加のうち、きものが一人で着られる方 子ども20名中、17名 親20名中、18名と、当初目標としていた70%以上の結果を得られた。また地域(文京区)の魅力を知った方40名のうち80%に当たる32名が該当。

【名古屋市】

- ・28名(小8名、中6名、保護者14名)の親子の参加のうち、きものが一人で着られる方 子ども14名中、13名 親14名中、14名と、当初目標としていた70%以上の結果を得られた。また地域(名古屋市)の魅力を知った方28名のうち80%に当たる22名が該当。
- ・違う学校の子もおよび親同士が横の繋がりを持つことも付記しておく。
- ・上述したが「着付け」というジャンルの部活動は存在しないが、これからの日本を担う若者にとり間違いなく必要不可欠な教えと学びになると思われる。

○児童・生徒への指導に関する工夫

- ・きものを着る、着られた、お出かける、という目標設定が目に見えるため子ども、親共に分かりやすいこと
- ・上述の通りきものが一人で着られる方が多数出て指導に間違いはなかった
- ・着付けの技術以外にきものに関する知識、マナー、所作歩き方なども含んでの指導を行った
- ・地域との連携を図り上述の通り、区の新たな魅力を発見する機会作りとなった

○運営上の工夫

- ・地域協力者を探し、お手伝いをいただくことで、地域との連携がより密になった。
- ・活動時間等の在り方等について 密を避け、午前・午後で分けることでのコロナ対策、使用する備品等の圧縮を行った
- ・生徒たちの募集について 区教育委員会の後援を取り、後援事業として取り組んだ
とくに文京区は最後の交流会に文京区長にも視察にこれらなど行政との繋がりにもなった
- ・地域、保護者、教育機関等との連絡調整について 地域協力者の力で地域交流会には多くの参加者招くことができた

○継続的な運営に関する課題・展望

- ・文京区、区教育委員会、等との連携協力体制の構築ができた
- ・名古屋市、市教育委員会、等との連携協力体制の構築ができた
- ・文京区議、名古屋市議の力で人材確保につながり、特に地域にいる高齢者との交流が図られた
- ・地域での継続的な活動を目指して
会場の確保 地域協力者により安価で借りられる
参加費および必要経費も理解は可能である
- ・学校側との課題
部活動に変わるものとして外部団体との連携ができるか
文化系は地域の有力者があり、地域コミュニティへの広がりを見せることで、地域への移譲がしやすく、将来にわたり教員の負担軽減につながる
和文文化を通じ将来の日本を担う人材育成が可能となる
- ・将来的な展望
学校と地域、家庭が連携し地域コミュニティ形成がこれからの高齢化社会、少子化社会の中で必要となる。
大規模災害等の連携にもつながる施策と考える。
会費は運営上必要不可欠なもので、その資金繰りが課題です。保護者様のご理解をいただき会場費、衣裳代等かかる。

○令和5年度からの学校部活動の段階的な地域移行に関する方針・提案

- とくに文化系は地域に移譲して地域のその道の有力者からの学びを享受させることが大事である。
- 学校内ではやはり限界がある。あとは国として補助金を出しスタートから1年程度のランニングコストをねん出し、その後は会費でまかなっていく仕組みが求められる。
- 当協会では以下にて取り組むことが可能である。
- 2024 子どもおよび親子で学べる文化系(着付け、マナー)学びの場を創設
- 2024～ 5年計画にて 開設拠点を順次増やす

○令和4年度 取組状況等

参加者	人数等	東京都(文京区)40名(小学生14名、中学生6名、保護者20名) 愛知県(名古屋市)28名(小学生8名、中学生6名、保護者14名)
	学校名	東京都(文京区):青柳小、窪町小、昭和小、根津小、指ヶ谷小、駕籠町小、小日向台町小、千駄木小、金富小、湯島小、誠之小、本郷小、礪川小、実践女子学園中、第十中、第九中、女子学院中、大妻中、第一中 愛知県(名古屋市):旭丘小、山吹小、大宝小、旗屋小、穂波小、東白壁小、汐路小、南山小、萩山中、日比野中、あずま中
	募集方法	東京都(文京区):区内小学校・中学校別に必要枚数のチラシを梱包し文京区教育委員会あてに発送。教育委員会から各学校長へ配送いただき生徒へ。希望者はメール又はFAXで当協会へ応募。希望者多数につのため抽選で20組決定 愛知県(名古屋市):市内小学校・中学校別に必要枚数のチラシをレターパックライトにて学校へ直送。希望者はメール又はFAXで当協会へ応募。希望者多数につのため抽選で14組決定
指導者	人数等	東京(文京区) 講師:5名+実演者5名 愛知(名古屋市) 講師:2名+実演者6名
	募集方法	本事業開催場所近隣の地域にいる講師に依頼
参加者の移動手段		参加者負担にて会場へ集合
活動費用	指導者謝金等	指導者謝金2,500円/時間、 交通費(実費)
	その他	会場費 ホテル椿山荘東京 132,000円(全4日間/6回分) 熱田神宮会館・熱田神宮108,000円(全6日間/6回分) 衣装代 子どもきものセットレンタル242,000円(22セット4か月) チラシ印刷・発送代 118,836円(2箇所合計) 人件費 打ち合わせ・発送 54,600円(2箇所合計)
活動財源	会費	参加費無料
	その他	なし(当協会負担)
スケジュール	基本活動	月1回や月2回などある程度のルーティンで実施
	年間	5-10月 準備および募集期間 11-2月 開講、運営、実施
保険加入等		なし

文京区の活動

【6回目のケーブルテレビ取材動画】

<https://youtu.be/sTMvyAHJ8M>



【名古屋市の活動】

